

歩行空間情報のオープンデータ化による多様なサービス開発・提供の促進

バリア情報を含むネットワークデータ（＝「歩行空間ネットワークデータ」）などをオープンデータ化することで、民間事業者などによる、多様な利用者のニーズに応じたサービスの開発・提供（段差を回避した経路検索やナビゲーションなど）の普及促進を目指す。

行政へ自治体等

〈歩行空間ネットワークデータ〉

段差や傾斜などのバリア情報を含むネットワークデータ

〈3次元地図〉

3DLiDARなどで取得する歩行空間の3次元点群データ



〈バリア情報〉

- ・階段
- ・傾斜
- ・段差 etc.

〈施設情報〉

- ・バリアフリートイレ
- ・エレベータ
- ・休憩スペース etc.

〈交通情報〉

- ・混雑状況
- ・運行情報
- ・イベント etc.

〈道路情報〉

- ・歩道の幅員
- ・通学路
- ・信号 etc.

民間等

民間事業者などがオープンデータを活用し、多様なサービスを開発・提供

（サービス例） 出発地から目的地まで段差や傾斜などのバリアを回避した経路検索とナビゲーション

平常時の移動

高齢者 車椅子使用者 ベビーカー使用者 視覚障がい者 子ども

物流・配送

自動配送ロボット

災害時の移動

ハザードマップ

